

お知らせ

◆今年度「文学セミナー」のご案内

「遠藤文学・原点の旅」(5月17・18日)のためのセミナーを左記のように行ないます。

日時 4月18日(土) 14時20分～16時
講師 杉本佳奈(立教大学助教・会員)
テーマ 遠藤周作の歩いた東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス内・萬来舎

参加費 3,000円(お茶代とも)

※「狐狸庵」が作られた町田市玉川学園や、『沈黙』刊行直後から深い縁を持った乃木坂の聖パウロ女子修道会、さらには墓所のある聖イグナチオ教会など、遠藤周作が縁を持った「東京」について、前町田市民文学館ことばらんど学芸員で、現在は江戸川乱歩記念大衆文化研究センターの杉本佳奈さんが解説します。

申込先 shusaku_club@yahoo.co.jp (締切4月11日)

▼なお、「遠藤文学・原点の旅」私の歩いた東京(町田・原宿・四谷)のご案内は、本報5ページに掲載してあります。

◆遠藤文学・関連書籍

『遠藤周作と文化的受肉(インカルチュレーション)——文学に神学を探る』著者 古橋昌尚(清泉大学教授)

日本キリスト教団出版局
定価 5,940円(税込)

※没後30年の今なお世界中で愛読・研

究されている遠藤作品に込められた神学的意図と創作技術、文化的受肉(インカルチュレーション)の実践が、神学・文学の両面から明かされます。

◆遠藤文学関連講座

朝日カルチャーセンター
遠藤周作没後30年企画

遠藤周作と北杜夫

——ユーモアをめぐって

対談 加藤宗哉(作家)
vs
齋藤由香(エッセイスト)

日時 3月7日(土) 10時30分～12時

会場 朝日カルチャーセンター新宿
新宿区西新宿2の6の1
新宿住友ビル10階

受講料 会員 4,235円
一般 5,335円

※ともに純文学とユーモア・エッセイを綴り、テレビCMでも競演した終生の友——遠藤周作と北杜夫。4歳

年長の遠藤は『沈黙』のかたわら『狐狸庵閑話』で、後輩の北は『楡

家の人々』の一方『どくとるマンボウ航海記』で、ともにベストセラー

作家となりました。この二人が織りなす笑いについて「作家の弟子」と

「作家の娘」が語ります。狐狸庵セ

ンセイのほら話に、マンボウ博士のうつつ病騒ぎ、その抱腹絶倒の交友の

先に、日本人が持った稀有なユーモ

ア精神が透けてきます。

申込先 03・3344・1941
asaculonline001@asahiculture.com

■お詫びと訂正

100号「アンケート・回答結果」に関して誤記載がまだありました。筆者に深くお詫び申し上げます。

伊東智香氏(9p2段目)「悲しい結末を迎えやるせない、気持ちになり」↓「悲しい結末を迎え、やるせない気持ちになり」、大蔵智恵子氏(9p3段目)「二筋の希望をも人物像」↓「一筋の希望をもたらず人物像」、佐藤朋彦氏(11p1段目)「『ガンジス河に体をすべり沈めた時』の7箇所に来たとき」↓「『ガンジス河に体をすべり沈めた時』の箇所に来たとき」、橋本智子氏(12p3段目)「キーパーソンとしてと魅力的に」↓「キーパーソンとしてとても魅力的に」の誤りでした。ここに深くお詫びして、大変遅ればせながら訂正させていただきます。(会報編集部)

◆遠藤周作学会 第19回全国大会

日時 2026年3月28日(土)

13時～17時30分

会場 京都外国語大学171小ホール(1号館7階)

京都市右京区西院笠目町6

共催 京都外国語大学

※学会員でない方もご参加いただけます。詳細は「遠藤周作学会ホームページ」をご覧ください。

連絡先 遠藤周作学会事務局
095・846・0084(代表)

◆町田市民文学館ことばらんど企画展

「堀辰雄 しあわせへのヒント」

3月22日(日)まで開催!

✽編集後記✽

▼2026年も明けて早2カ月、いかがお過ごしでしょうか。周作クラブ恒例の新年会も、盛況のうちに無事終わりました。当会としてのイベントは4月に勉強会、5月には「原点の旅」が待っています。皆様、奮ってご参加ください。

▼私個人の新年は、ある映画の撮影から始まりました。いつかは来ると思っていた認知症の老人の役。台詞はほとんど無く、呻いたり叫んだり、だけでしたが、この役を頂いて本当に良かったと思います。役を演じるにあたって色々調べました。知る、という事は不安を無くしてくれました。どんな老後が待っているかは誰にもわかりません。一日一日を大切に生きていこうと思えました。(亀)

▼今年は遠藤先生の没後30年にあたります。新年会の盛況ぶりを拝見し、改めて、亡くなられてからこれほどの時を経て、亡く作品を通して人と人をつないでくれる遠藤文学の力を実感しました。今年の「原点の旅」は東京が舞台です。4月のセミナーでは、長年暮らされた町田の中心にお話しする予定です。ご参加いただけましたら幸いです。(杉)

「周作クラブ」第102号

2026年2月発行

■編集人 亀岡園子

■副編集人 丸田明利、杉本佳奈

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール shusaku_club@yahoo.co.jp